

保全 のため

その動物どこから来たの？

ペットのための捕獲が動物の数を減らしています！

海外からの密輸

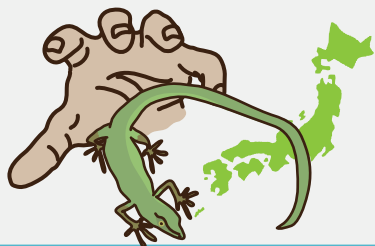
日本は爬虫類のペット産業が巨大で、中には正規な手続きを踏まず密輸される頭数も多いです。



2021年には
494頭
の押収

国内の密猟

日本にしか生息していない貴重な爬虫類たちも高価なペットとして密猟、密輸されています。



「しあわせ」にしてあげられる？

それぞれ違うどうぶつたちのしあわせ

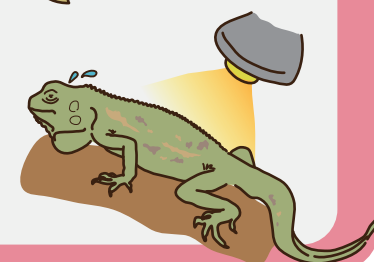
甲羅の5～10倍の広さが必要 カメの場合

地面と水場があり、適切な湿度が保てる場所が必要です。環境が適切でないと、甲羅の成長に異常をきたします。



照明器具は必須

紫外線を浴びないと、ビタミンD3が作ることができず、カルシウム不足でくる病の原因となります。



自分 のため

飼ったら どんなことがたいへん？

食費がかかる

季節を問わず新鮮な葉物野菜や冷凍マウスなどが必要。



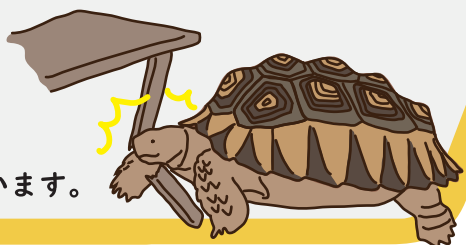
そうじがたいへん

大量の尿を一気に噴出！大型になるカメはうんちが人間並みに。



おうちを破壊

大きな爬虫類は家の柱や家具を破壊するパワーをもっています。



わたしたちにできる どうぶつのまもりかた

爬虫類を ペットにしたい？

その前に チェック！

くわしくはコチラ



こんなことが起きるかも！ 万が一、想定している？

逃走の恐れあり！

大きなニュースになり近隣に迷惑がかかります。法令違反になると拘留や罰金などになります。



感染症問題

爬虫類のサルモネラ保有率は非常に高く、50～90%という報告があります。また寄生虫が寄生したまま国内に入ってくることも多いと言われています。



社会 のため

気軽な「ペットにしたい」で、動物やヒトを困らせる前に。